

ご使用について

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなることがあります。

※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

⚠ 警告

LEDを直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

品番 DWP-37295

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

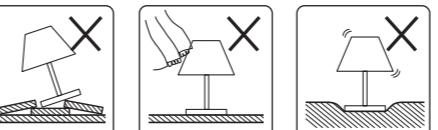
この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

⚠ 注意

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

⚠ 警告

この器具は床面専用(据置式)です。指定場所以外には使用しないでください。火災・転倒の原因となります。



! 厳守

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・転倒等の原因となります。

! 水ぬれ禁止

この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

! 禁止

周囲温度-5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・転倒等の原因となります。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・転倒等の原因となります。

調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

⚠ 注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

! 厳守

- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
- ※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は3年です。ただし、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

商品についてのご相談は CSセンター(0570) 003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月~金曜)9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

仕様

- 屋内専用
- 床面専用(据置式)

- 調光不可
- LEDユニットは交換不可

DST-37295

交流 100V

50/60Hz兼用

16.5W

0.25A

演色性 Ra85

電球色(2700K)

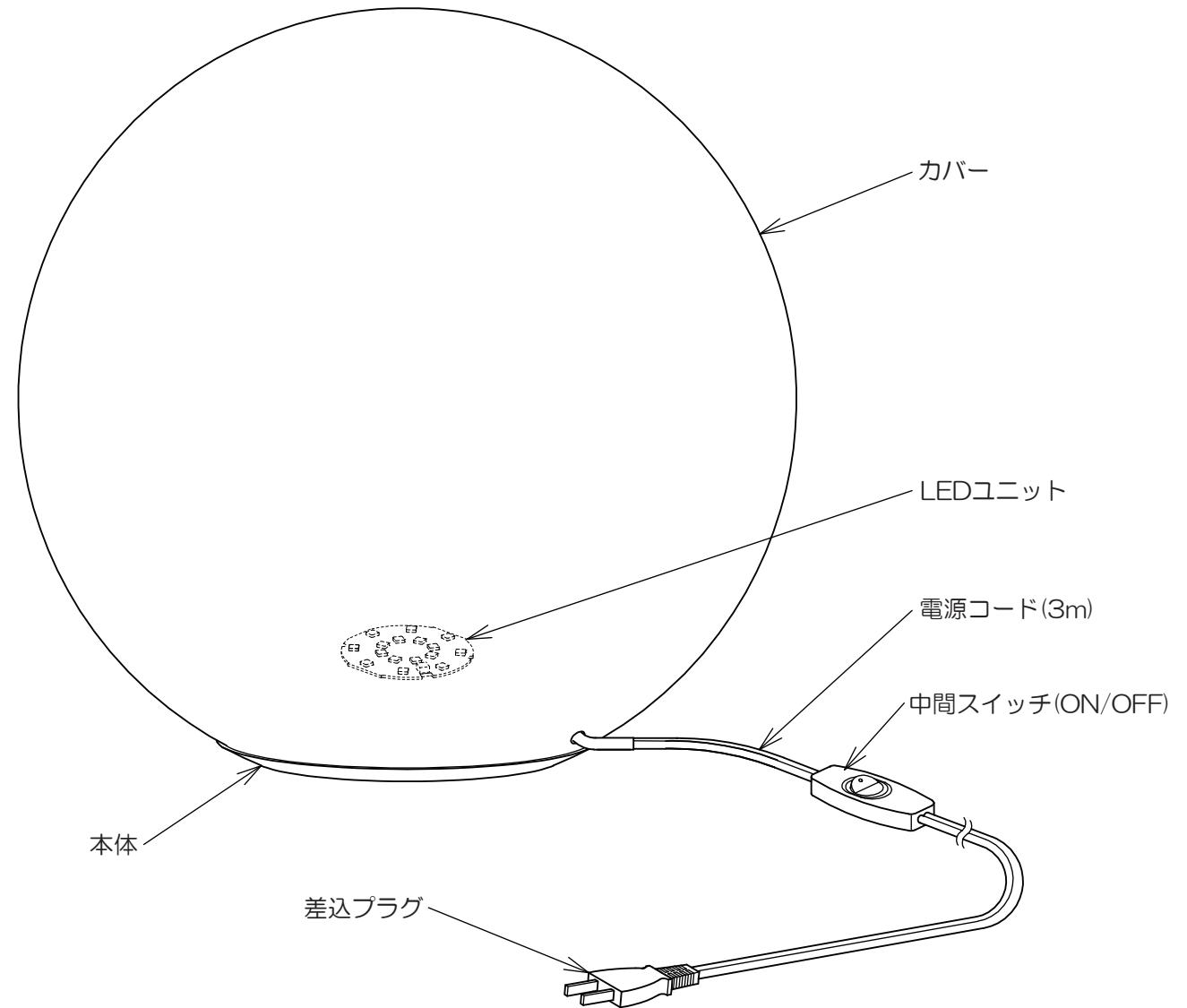
LED光源寿命:40,000時間

約1.7kg

差込プラグ

各部の名称

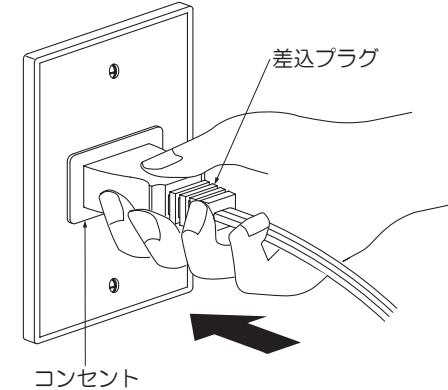
※下図は、簡略した図です。



施工説明

1 差込プラグを接続する

- 差込プラグをコンセントに奥まで確実に差し込んでください。



△ 警告

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードは無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、差込プラグを抜く時はプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障の原因になります。

長期間使用されない場合、差込プラグをコンセントから抜いてください。